



活動日 2025年 6月 12日 ひよこ組

年間テーマ [感触遊び]

様々な物に触れ、五感を刺激し身近な物への興味を促す。

①活動テーマ[果物の感触を楽しもう]

身近な植物の感触や匂いを感じる。

環境設定

- 普段いく公園にある果実を使用する
- 大きさや色の違うものを複数用意する

活動内容・子どもの姿の考察



いつも遊んでいる場所に梅の実があったので、近くで見てみる事にする。最初は不思議そうに遠くから見つめている。



梅の実から匂いがしていたので1人ずつ匂いを嗅いでみる。実際に匂いを嗅いでみると興味が増したようで触ろうとする姿も見られる。



シートの上に梅の実を置いてみると自ら手を伸ばしていた。1人が触りだすと周りの子どもたちも触り出し、両手に梅の実を持って振り、楽しさを表現していた。



力強く梅の実を持つと柔らかい部分が潰れて驚く表情も見られた。片手で梅の実を持ったり両手で持ったり思い思いに触ったり、転がしたりして遊ぶ。

振り返り

初めてのすくわく活動だった。最初は、恐る恐る梅の実を見ていたが保育者が楽しそうに触っている姿を見ると自然と手が伸びていた。それからは、思い思いに実を転がしたり握ったりして遊んでいた。これをきっかけに同じ場所に遊びに行くと自ら実を発見して触ることもできていた。0歳児は初めてのことも多いのでまずは一緒に楽しむことを心がけたい。



活動日2025年7月24日ひよこ組

年間テーマ [感触遊び]

様々な物に触れ、五感を刺激し身近な物への興味を促す。

②活動テーマ[水と氷で遊んでみよう]

普段楽しんでいる水遊びを発展させ、
様々な種類の氷にも触れてみる。

環境設定

- 大きさ、色、形の違う氷を使用する。
- 氷の中に違ったポンポンを入れておく。

活動内容・子どもの姿の考察



まずは普段遊び慣れている水に触れて、水の感触や音や冷たさを感じる。ダイナミックに手を動かして、水の動きも楽しむ姿があった。



色々な形、色、仕掛けがある氷に触れる。色がついている事によって興味を引き、自ら触れようとする子が多く、形によっても触った感じや持ちやすさを区別しながら触っている様子。



ツルツル滑って中々握めず、何度も握ろうとチャレンジしながら、冷たさや溶けていく感覚を体験している。



氷が溶けて中の仕掛け玩具が出てきて、また違った感触を楽しみながら、どんどん出てくる仕掛けに不思議そうにしている。

振り返り

水遊びで慣れている場所で水遊びへの発展を行った事で、安心して氷に触れる事が出来ていた。集団で体験する事によって初めての体験が苦手な子も周りの楽しんでいる様子を観察しながら自分のタイミングで触って体験する事が出来た。色々な形や色、仕掛けのある氷を用意した事で一人ひとりの興味関心に合った遊び方をすることも出来、十分に氷に触れる事が出来、冷たさ、滑る感覚、溶けていき変化していく様子感じている様子があった。冷たさを感じた時には口を窄めて冷たそうにする表情、滑って握めない時には真剣に握ろうとする表情、どの氷にしようか悩む楽しげな表情等、色々な事を感じている様子が表情から見てとれた。



活動日 2025年 7月29 日 ひよこ組

年間テーマ [感触遊び]

様々な物に触れ、五感を刺激し身近な物への興味を促す。

活動テーマ [色々な野菜に触れてみよう]

触った感触や匂いを嗅いでみる

環境設定

〇給食に出てくる野菜（なす、きゅうり、チンゲンサイ）を選んで興味を持てるようにする。

活動内容・子どもの姿の考察



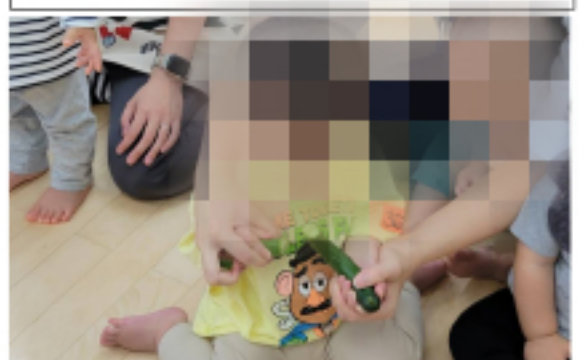
食育で身近な野菜を見て触れてみた。興味を持って触る姿や怖がって手を出さない子もいる。触った感触を知る。



切って中身を見てみる。中身の色が違う事や種がある事を知る。切ってみると水分があり冷んやりしている事を体験する。



千切ったり折ったりしたものの匂いを嗅いでみた。青臭い匂いで驚いたのか顔を歪めている様子。



野菜を自分でも千切ったり折ったりして、折れた時の音を聞いてみた。怖くて触るのが苦手な子は音を聞いたり、友達が千切ったり折ったりしているのを観察している様子。

振り返り

なかなか生の野菜を触ったり切った断面など見る機会はないため、水分があり湿っている感触や調理された物と違い野菜そのものの青臭い匂いなど経験することができた。給食で食べている野菜を選んだ事もあり、給食の時に実際調理されているものを見ることが出来て野菜が苦手な子も食べてみようという気持ちに繋げたい。



活動日 2025年 11月 20日 ひよこ組

年間テーマ [感触遊び]

様々な物に触れ、五感を刺激し身近な物への興味を促す。

④活動テーマ [春雨を使って感触の変化を楽しもう]

状態の変化を知る。
色を使って見立て遊びを楽しむ。

環境設定

状態の違う物を複数用意する。
様々な容器や食具を用意する。

活動内容・子どもの姿の考察



『どんな色が好き?』のペーパーサートを行う。自分の着ている服と同じだとわかると嬉しそうにしていた。一緒に歌おうとする姿もある。



戻す前の春雨を触ってみると、硬い感触を嫌がるような反応もある。透明なため机に落ちるとどこに行ったら探すように手を動かしていた。



色水に春雨を入れてみる。透明な春雨がどこに行ったらじっと色水を見つめる姿があった。袋を手で揉んだりしながら色をつけていく。



戻したものの、様々な色の春雨を揉んだり、食具を使って容器に移し替え遊ぶ。色が混ざる様子や柔らかく冷たい感触を楽しむ。ぶちぶちと千切れるのも不思議なようである。

振り返り

感触遊びも回数を重ね、新しいものを触る抵抗感がほとんどなくなっているように感じた。戻す前の硬い春雨よりもやわらかい春雨の方が扱いやすいようで、積極的に触っていた。様々な形の容器を用意した事で、自分の使いたい容器に次々と春雨を入れている様子が印象的だった。長い時間でも集中して移し替えを行っており、楽しく熱中している事が伝わってきた。今後の生活の中でも色を見つけてみることや、感触の移り変わりなどを体験できるようにしていきたい。



活動日 2026年 1月 20日 ひよこ組

年間テーマ [感触遊び]

様々な物に触れ、五感を刺激し身近な物への興味を促す。

⑤活動テーマ【絵の具を使って色をつけてみよう】

絵の具の感触や色の混ざりを楽しむ

環境設定

○複数の色の絵の具用意する

○筆を用意する

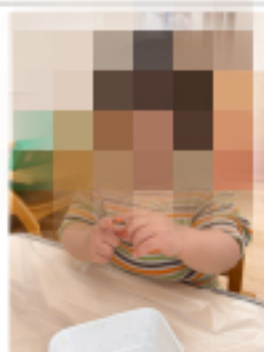
活動内容・子どもの姿の考察



「じぶんだけのいろ」を読み、さまざまな色があることや、色の変化を知る。簡単な色については指で示して、「あか」などという。



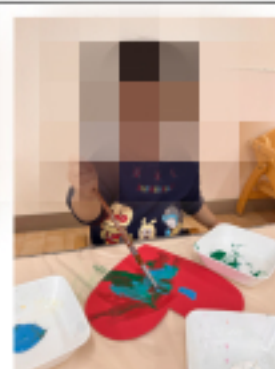
様々な色を実際に絵の具で見してみる。また独特の感触を嫌がり、恐る恐る手を伸ばしつつ触るような仕草が見られた。



慣れてくると指ですり潰してみたり、手のひらに伸ばして擦り合わせてみたりしていた。手のひらいっぱい絵の具が広がると嬉しそうに見せてくれる。



指につけた絵の具を紙に付けたり、筆を持って紙に色をつけてみたりと楽しんでいった。さまざまな色が重なると色が変わる様子も体感しているようだった。



振り返り

絵の具の独特な感触に始めは触ることを躊躇うような姿もあったが、だんだん慣れてくると手に伸ばしたりしたりと親しんでいた。また手で触るのは嫌でも、筆を使って色がつく様子は見ていると楽しいようで、笑顔で取り組んでいた。紙いっぱい絵の具を広げる子もいれば、同じところに何度も色を重ねる子もおり、個性が光る作品を垣間見ることができた。



活動日 令和8年2月16日 ひよこ組

年間テーマ [感触遊び]

様々な物に触れ、五感を刺激し身近な物への興味を促す。

⑥活動テーマ

葉っぱや落ち葉に触れ、さまざまな感触（やわらかい、かたい、カサカサ）感じる

環境設定

子どもが安心して座ったり寝転んだりできるよう、周囲を整え、保育者がすぐに近くで関われる環境を用意する。

活動内容・子どもの姿の考察



「ひょうたんころころ」の本を見る。子どもたちも「ぱっ」言って葉っぱの絵を指さしたり、転がる場面では身体を横に揺らしていた。



触ってみる。落ち葉が沢山落ちているところを目掛けて走って向かう、それぞれが触ったり、ちぎったり思い思いに感触を楽しんでいる。



音に気付く。保育者が落ち葉を足で踏んでみるとカサカサなる音に振り向く。すると子どもたちもすぐにマネをしてカサカサ鳴る音を聞くたびに笑顔が



保育者が高い位置から葉っぱを落とすと舞い落ちる様子に興味を示して声を出したり、目で追ったり手を伸ばしたりする姿が見られた。

振り返り

葉っぱ落ち葉に触れ、柔らかさや音、舞い落ちる様子など様々な感触を五感で触れることができていた。目で追ったり手を伸ばしたり、それぞれが自分なりに自然物に関わろうとする姿がうかがえた。身近な自然に親しみながら興味や探索する気持ちだ育っていることを感じた。